

「EDTA 依存性偽性血小板減少症における血小板数測定に対する 検体処理方法の検討」

当センターでは、下記の通りの臨床研究を実施しています。この研究では検査結果のごく一部とその分析を行った残りの検体を利用するため、患者さんへの負担は一切ありません。

また、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、当センター倫理委員会の承認の上で実施されます。あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には下記問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究課題名

EDTA 依存性偽性血小板減少症における血小板数測定に対する検体処理方法の検討

2. 研究目的

EDTA 依存性偽性血小板減少症の患者さんの検体では、血小板の凝集を可能な限り解消したうえで測定し報告する必要があるため、凝集の解消方法や条件について検討します。

3. 研究実施予定期間

研究許可日 ～ 2024年3月31日

4. 対象

研究実施期間中に血球算定を実施し、EDTA 依存性偽性血小板減少症であると判定された検体

5. 研究方法

各種薬剤等により処理したのちに再度血小板数を測定し、比較検討します。

6. 問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 検査部

研究責任者：水谷 陽介

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目 20 番地

TEL：073-422-4171（代表）